

安全データシート

MKCL-2300

発行日/改訂版の日付

: 2023年1月11日

1. 化学品及び会社情報

製品の名称 : MKCL-2300

製品コード(整理番号)

供給者の会社名称、住所及び電話番号 : 株式会社ミヤコシ
〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田1091
Tel: 047-459-1833 Fax: 047-459-1487 / Tel: +81-47-459-1833 Fax: +81-47-459-1487

販売者の会社名称、住所及び電話番号 : キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-13-29 Tel: 03-6719-9700 Fax: 03-6719-8710

緊急連絡先 : 047-459-1833

推奨用途 および 使用上の制限

推奨用途

インキ

使用上の制限

情報なし。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 分類されていない。

GHS ラベル要素

注意喚起語 : 注意喚起語なし。

危険有害性情報 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

注意書き

安全対策 : 該当しない

応急措置 : 該当しない

保管 : 該当しない

廃棄 : 該当しない

内容物／容器等は法令に従い貴社の責任で適正に処理下さい。

補足的なラベル要素 : 知り得る情報では無し

その他の危険有害性 : 知り得る情報では無し

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

本製品の成分の中には、現在の知識の範囲および該当する濃度において、このセクションで報告が義務づけられている健康または環境に対して有害危険性であると分類される成分は含まれていません。

含有化学物質に関する該当法規制情報については15項を参照のこと。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 応急処置をする者の保護に必要な注意事項 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 知り得る情報では無し
- 火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。
- 特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報を注意しなければならない。「非緊急時対応要員について」の情報も参照。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 少量に流出した場合 : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量に流出した場合 : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、バーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(セクション13を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意: 緊急時連絡情報については第1章を、廃棄処理については第13章を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。
- 衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。
- 技術的対策 : 情報なし。
- 接触回避 : 「10. 安全性及び反応性」を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

保管

- 安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。
- 安全な容器包装材料 : 情報なし。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界及び感作性物質分類
なし。

保護具

- 呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。
- 手の保護具 : リスク評価によって必要とされる場合は、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。
- 眼、顔面の保護具 : リスク評価によって必要とされる場合は、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

外観

- 物理状態 : 液体
- 色 : 透明色
- 臭い : 特異臭。
- pH : 7.0-10.0
- 融点／凝固点 : 情報なし。
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : 100°C (212° F)
- 引火点 : 引火せず
- 可燃性 : 情報なし。
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。
- 蒸気圧 : 情報なし。
- 相対ガス密度 : 情報なし。
- 相対密度 : 1 から 1.15
- 密度 : 情報なし。
- 溶解度 : 情報なし。
- n-オクタノール／水分配係数 (log値) : 該当しない
- 自然発火点 : 情報なし。
- 分解温度 : 情報なし。
- 粘度 : 動粘性率 (室温): 情報なし。
- 粒子特性 : 該当しない
- その他の物理化学的性質 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
- 化学的安定性 : 製品は安定である。
- 危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
- 避けるべき条件 : 特にデータは無い。
- 混触危険物質 : 特にデータは無い。
- 危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	ばく露時間
製品として	LD50 経口	ラット	>2000 mg/kg	-

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん/ミスト) (mg/l)
製品として	2500	N/A	N/A	N/A	N/A

結論/要約 : 類似製品を用いたラットの急性毒性(経口)試験(OECD TG 420)では、LD50 >2000mg/kgと報告されている。

皮膚腐食性／刺激性 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

結論/要約

- 皮膚 : 類似製品を用いたウサギの皮膚刺激性試験(OECD TG 404)の結果では、GHSの分類に該当しないと報告されている。
- 眼 : 類似製品を用いたウサギの眼刺激性試験(OECD TG 405)の結果では、GHSの分類に該当しないと報告されている。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

結論/要約

- 皮膚 : 類似製品を用いた皮膚感作性試験(LLNA法、OECD TG429)では皮膚感作性はないと報告されている。

生殖細胞変異原性

結論/要約

- : 類似製品を用いた細菌の復帰突然変異試験(OECD TG471)では、陰性との結果が報告されている。

発がん性

製品として情報無し

生殖毒性

製品として情報無し

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

製品として情報無し

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

製品として情報無し

誤えん有害性

製品として情報無し

11. 有害性情報

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	ばく露時間
製品として	急性 EC50 >100 mg/l 急性 EC50 >100 mg/l 急性 LC50 >500 mg/l	藻類 ミジンコ類 魚類	72 時間 48 時間 96 時間

結論/要約 : 類似製品を用いた魚類(メダカ)の水生環境有害性試験 短期(急性)(OECD TG203)では、96時間LL50 >500mg/Lと報告されている。

類似製品を用いた甲殻類(オオミジンコ)の水生環境有害性試験 短期(急性)(OECD TG202)では、48時間EL50 >100mg/Lと報告されている。

類似製品を用いた藻類(ムレミカヅキモ)の水生環境有害性試験 短期(急性)(OECD TG201)では、72時間ErL50 >100mg/Lと報告されている。

類似製品を用いた藻類(ムレミカヅキモ)の水生環境有害性試験 長期(慢性)(OECD TG201)では、72時間NOELRr >=100mg/Lと報告されている。

残留性・分解性

情報なし。
情報なし。

生体蓄積性

情報なし。

土壤中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
UN番号	規定なし。	Not regulated.	Not regulated.
品名	-	-	-
国連分類 クラス	-	-	-
容器等級	-	-	-

14. 輸送上の注意

環境有害性	該当せず。	No.	No.
-------	-------	-----	-----

国内法規

陸上輸送 : 法の基準に従い積載・輸送する。

使用者のための特別な予防措置 : 保護具、消火器を携帯する。梱包や袋が破れないように丁寧に取扱う。容器に漏れのないことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、荷崩れ防止を確実に行う。必要であれば、イエローカードを携帯する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法, 2023年3月31日まで)

非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法, 2023年4月1日以降)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

消防法

該当しない

インベントリリスト

日本

化審法 : 適合。全ての成分が収載または免除されている。

労働安全衛生法 : 適合。全ての成分が収載されている。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2023年1月11日

略語の解説

: ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA = 国際航空輸送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。("Marpol" = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

参照

: DataLink ™
JCDB Database – Japanese Regulations List
REACH (Regulation (EC) 1907/2006) – Article 119(1). ECHA registered substances
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
U.S. Environmental Protection Agency, AQUIRE (Aquatic toxicity Information Retrieval)
ECOTOX Database System
National Institute of Technology and Evaluation (NITE) – GHS Classifications List

注意事項

16. その他の情報

この安全データシートに記載されている情報は、発行時において、弊社が知りうる最新情報に基づいており、正確なものです。記載情報は、安全な取り扱い、使用、加工、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のためのものであり、保証あるいは品質仕様を示すものではありません。また、記載情報はここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない材料との併用、あるいは指定されていない工程での利用に関しては、有効でなくなる場合があります。

その他の情報 : 情報なし。